

會 告

昨年 6 月以降會誌用紙の配給量が激減し、10—12 期及び本年 1—3 期に至つては更に加速度的の減額と成りましたに拘らず本會は輻輳せる重要な御寄稿を成可く早く掲載する爲、遂ひ昨年 12 月號迄每號の頁數を餘り減ずることなく發行して參つた次第であります。それが祟つて本年 1 月以來は豫定通り會誌を發行することが出来なくなり、會員諸君に重ね重ねの御迷惑をお掛け申したことは洵に遺憾に存ずる次第であります、而して現下の状況どうしても今迄の様な頁數を持続することは不可能となりましたので、4 月號以後は約 30 頁内外のものとなるかも知れません。何卒御諒承下さい。

そこでその理合せとして本年春期開催豫定の第 31 回講演大會の講演を出来るだけ各地に分け、講演會を開催し、普く會員諸君の御聴講を願ひ度、不取敢 6. 7 月の兩月分として次の如き計畫を建てました。爾餘の月の計畫は追て決定御通知申し上げます。

講演地	時 期	講 演	記 事
東 京 都	19 年 6 月 11 日 (日)	熔解に関する論文	決 定
大 阪 市	" 6 月 27 日 (火)	熱處理に関する論文	決 定
八 幡 市	" 7 月中 旬	銑鐵に関する論文	交 渉 中
室 蘭 市	" 7 月下 旬	性質に関する論文	決 定

差當り上表中の 6 月 11 日開催の東京講演會の要領は次の通りです。奮つて御參會下さい。

- 1) 日 時 19 年 6 月 11 日 (日) 午前 9 時開會
 2) 場 所 東京都本郷區本富士町 東京帝國大學法學部 1 階第 21 號教室

3) 講演次第

時 間	講 演 種 別	氏 名 (敬稱略)
9—0~ 9—10	開 會 の 辭	日鐵協 鐵鋼部長 吉 川 晴 十
9—15~ 9—40	(1) 鹽基性弧光爐製鋼過程に於ける オーステナイト結晶粒度に就て	星 野 耕 一
9—45~10—10	(2) 鹽基性平爐に依る特殊鋼熔解の研究	△ 小 林 佐 三 郎 近 藤 八 三 金 森 祥 一
10—15~10—40	(3) 大型傾注式平爐廣畑式製鋼法に就て	志 賀 芳 雄
10—45~11—00	(4) 鹽基性電氣爐に於ける各種製鋼方式 と材質との關係	山 下 伸 六

1-0~1-25

(5) 高周波電気爐新熔解法に就て

▲ 工 藤 巖

山 本 信 公

1-30~1-55

(6) 鋼の新しい造塊法に就て(第2報)

近 藤 八 三

▲ 近 藤 光 治

館 野 萬 吉

2-0~2-25

(7) 鋼塊押湯に関する研究

前 田 元 三

廣 永 岡 人

10 分 間 休 憩

2-40~3-05

(8) 熔鋼-鋼滓の Fe) の分配恒数に及ぼす CaO の影響

矢 島 忠 和

3-10~3-35

(9) 旋削屑を主原料とする電気爐鑄鐵の熔解に就て

岡 本 幸 治

3-40~4-05

(10) 熔鋼の化學分析試料採取法の一考察

中 村 文 一

閉 會 の 辭

日本鐵鋼協會々長

吉 川 晴 十

4) 講演會御案内方法 最初 1, 2 回は全國主なる學校及び會員會社宛, 協會より御案内狀を差上げますから, 各學校會社に於かれましては御面倒ながら, 掲示なり刷物なりにて適當に會員へ汎く御吹聴を願ひます。(ハガキ及び印刷物の郵送困難に就き)

(註) 其の後の御案内の方法は目下協會で研究中です。決定次第更めて御通知申上げます。

5) 晝 食 出席者は御銘々お辨當を御用意下さい。

會場附近のみならず御食事の場所は殆んどありません。

6) 警戒警報 發令中は取止めといたします。